

# ぴーちっこ

発行 社会福祉法人 聖友ホーム  
聖友乳児院（乳児院）  
聖友学園（児童養護施設）



目次

- コラム 「どうぞよろしくお願ひします」 聖友ホーム 聖友学園 園長 岡田稔晟 …… 2p  
「ご挨拶に代えて『結ぶ』」 聖友乳児院長 阿部幹史 …… 3p
- ふわふわ（乳児院編） …… 4p
- ふわふわ（聖友学園編） …… 5p
- 決算報告 …… 6p
- 寄付ありがとうございました …… 7p

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

Eメール(共通) seiyugakuen@nifty.com ホームページ(共通) <http://www.seiyuhomu.or.jp/>

# 「どうぞ よろしく願います」

聖友学園  
園長 岡田 稔蔵

今年4月に聖友学園長に就任してから2か月半経ちました。予想していたより大変な仕事だと感じています。何が大変かという、難しい子供たちの対応、職員の業務の厳しさ、グループホームを含め多岐の職場を管理する複雑さなどです。またまた学芸が多過ぎて四苦八苦の毎日です。

私はこれまでいくつかの異なる種別の社会福祉施設や福祉とは無関係の職場を経験してきました。それらを通じて学んだことは、利用者本位にサービス提供することの大切さと、何より、利用者も保護者も職員も誰も孤立しない、孤立

させない」ことの重要さです。これまでの経験から学んだことに新たな学習を加えて、聖友学園のため、聖友学園の利用者のために全力を傾注する覚悟です。

さて、話は突然変わります。今年5月に渋谷駅構内で、男性が刃物で刺され重傷を負うという事件がありました。事件の原因は、身体がぶつかったということのようです。今日何かのきっかけで爆発する分からない不満を持った人が世の中にたくさんいます。電車内や街で隣の人がそういう人ではないかと不安になることがあります。そんなときに思い出すのが、アメリカの第16代大統領リンカーンの言葉です。「向上心がある者は喧嘩をしている暇などない。五分の理がなければ、大事なことも相手に譲れ。十分の理があろうとも、些細なことなら相手に譲れ。」というものです。特に最後の、自分が完全に正しくとも、非は

すべて相手にあろうとも、些細なことなら相手の言い分を受け入れてしまえ、というのが凄いです。これならつまらぬ諍いは起こらないし、つまらぬ諍いで時間を空費することもありません。リンカーンの言葉は、本来は向上心ある者への励ましの教訓ですが、現代においては、事件に巻き込まれず無事に生きる処世訓にもなっているように思います。そしてこの言葉の本来の意義と現代的な意義の両方を、当施設の子どもたちに特にキレやすい子どもに、現在のそして将来の教訓として覚えてほしいと思います。大人でも難しいのに、子どもたちが受け入れるのはかなり難しいでしょうが、是非伝えていきたい金言です。

就任挨拶としては変なものになってしまいました。関係機関や地域の皆様、どうぞこれまでと変わらないご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

# 「挨拶に代えて」結ぶ」

聖友乳児院  
院長 阿部 幹史

4月1日付で就任いたしました。岡田前院長同様、何卒よろしく願い申し上げます。聖友ホームは、故床次桂子先生が、関東大震災で親を失い、行き場を失くした子どもたち等のために、全私財を寄付して創設されたことを、ホームページで知りました。「結ぶ」は、差し伸べた手と子どもたちの手が結びあっている姿だと向いました。床次先生の崇高な思いと、聖友乳児院の理念、どうも心を強く動かされ、職に就かせていただくことをお願いした次第です。全てはお金とさ言われる世の中です。手を差し伸べ手を結んでいる光景が想像され、胸が熱くなります。毎朝、職員同士の連絡を行う部屋には、床次先生の写真とともに、聖徳太子17条憲法の「和を以て貴しとなす」の書が掲げられています。聖徳太子は「悲

田院」等を設け、救済事業を行なったと言われています。一つ並んだ額は、時空を駆けて、結びついているようです。

以前、児童福祉に間接的に関わった時の思い出の一つに、歌があります。それは、職場の懇親会で、必ず締めに歌われたものです。「良い子の住んでる良い町は、楽しい楽しい歌の町。」と、い歳の酔った大人たちが、肩は腕を廻して結束し、体を左右に揺らしながら歌うのです。明るく、希望の持てる社会のあり様が、軽やかに単純化されていると感じました。酒も入り「これでいいのだ」と思いました。当時、先輩に薦められた本に著名な「エミール」がありました。時代を経た本ですが、今に通じる養育の大事な視点が含まれているようです。ちなみに手と手が好きな「むすんで、ひらいて」という明快なリズムの遊び歌は、先ほどの歌と同じ人物の作だとのこと。

また「かつて子ども」という詩が、大きな話題となったことを、ご存知の方もおいでと

思います。皇太子殿下が、平成17年の記者会見で紹介された、本当にすばらしい詩です。最後の節は「可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を感じることをおぼえる」とあります。私どもの囑託医師松野先生も子どもをしっかりと抱きしめてやりなさい。抱きしめる大人も変わる」と、機会を見れば話をされます。子どもへの対応として、極めて大事なことで受け止めています。さて聖友乳児院は、築後30数年を経て、現在の建物、設備が必ずしも十分とはいえません。そのような状況ですが、子どもの生命と大きな未来等を結ぶため、温かい心と専門知識・技術を持った職員が、互いに手を結びながら、都内で最良のサービスを提供するというビジョンを持って、養育等に当たっています。また、これまでも聖友学園とともに地域との交流を進めてきたところですが、なお層、地域等の結びつきを強めてまいります。関係者の皆様並びに地域の皆様、聖友乳児院のご支援を、どうかよろしくお願い申し上げます。

ふわふわは子どもたちの様子を  
お伝えするコーナーです

ふわふわ 学園 編

# ♪ 入園、入学おめでとう ♪

聖友学園では、今年もたくさんのお友達が入園、入学を迎えました。  
元気いっぱいのお友達の年少さん4名、びかびかランドセルの小学生が5名、  
部活に勉強に大忙しの中学生が3名、受験を終えて一回り成長した高校生が2名です。  
たくさんのお友達を作って、たくさんお勉強して、楽しい毎日を過ごしてね♪



年間行事のご紹介

4月	5月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新年度スタート	端午の節句・鷹蒲湯	七夕まつり	お楽しみ会	お見舞い	赤い羽根共同募金	七五三	冬祭・ゆき湯、大掃除、もちつき、クリスマス会	祝い贈・新年の集い	節分	ひな祭り・お別れ会

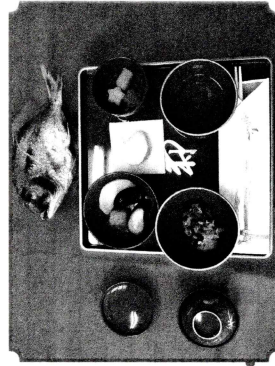
ふわふわ 乳児院 編

# おぐいぞめをしました



いちご組2名、もも組1名の子どもたち  
がお食い初めを行いました。  
食べさせてくれたのは、乳児院の阿部院  
長です。たくさん先生の先生たちに見守ら  
れ、いつもより少しおしおしやれな服を着て、  
ちよっとドキドキしちゃったかな？  
泣いちゃったけど、  
素敵な思い出ができました。

一汁三菜に鯛、そして福石。  
一生食べるものに困りませんように...  
と願いを込めて、  
おぐいぞめを行いました。ちなみに、  
写真のセットは男の子用で、  
女の子用はお椀の色が少し違います。



年間行事のご紹介

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
お花見	春の遠足・端午の節句	おやつ作り	七夕まつり	聖友学園お楽しみ会	地域夏祭り	秋の遠足	運動会	七五三お祝い	焼きいも会	クリスマス会	初詣	節分	ひな祭り・お別れ遠足

お誕生日会は  
毎月実施します



びーちっこ広場にお集まりください



「びーちっこ」は皆様とたくさんのお話ができる広場になろうとスタートしました。皆様には「おたより」のかたちで広場に集まっていたいただき、子どもたちに関する様々な事柄を一緒に考えたいと思っています。皆様からのたくさんのお便りをお待ちしております。下の用紙を切り取って、ご意見、ご感想などを郵送ください。ファックス、メールでも構いません。※メールの場合は、姓に「びーちっこ」と入れてください。

Form for sending comments and opinions, including fields for name and address.

※今後継続して「びーちっこ」の送付を希望されますか? ・はい ・いいえ

ご住所 TEL FAX お名前

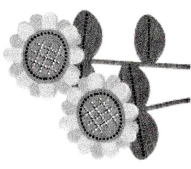
平成23年度 社会福祉法人聖友ホーム決算報告 (自)23年4月1日(至)24年3月31日

Main financial statement table with columns for income and expenses, categorized by activity and fund type.

Summary table showing balances at the beginning and end of the period for various funds.

松坂自立援助基金費助会

Table detailing the activities and financial flows of the Matsuzaka Independent Support Fund Association.



おる

「ありがとうございました」

次の皆様よりご協力をいただきました。

厚く御礼申し上げます。(平成24年1月～6月。敬称略)

〈寄付金〉

床次瑞彦、矢野元晴、堀郁子、杉本洋子、株式会社日配運輸、原あや子、本田裕人、沼奈央子

〈寄贈物品〉

First Selection、長島貴子、山田美代子、三沢紀子、小林洋子、野口とも子、鈴木康子、長島貴子、斎藤裕美、手作り工房関谷、大柳勝美、小林英樹、株式会社プラン、カープスジャパン、内海哲也ランドセル基金、近藤久雄、植村隆博、山本英俊(競走馬「ジャリーブス」馬主)、原錠二、大塚良子、中村直子、吉田眞理、TOKYO FM、ATSUSHI (EXILE)、株式会社チュチュアンナ、木口屋恵子、本田裕人、沼奈央子

\*このほか匿名で様々な寄附をいただきました。

〈パースデーフレンド〉

清水敦子、朝倉良江、中島省吾、内山真規子、茂手木政則、茂手木暁子、梅澤文治、野口由理、比嘉芳子、杉本秀哉、二宮徳子、藤川民子、丸翠、岩下英之、新井美智子、大澤芳子

● 編集後記 ●

今年度の聖友ホームは乳児院・学園ともに施設長が代わってスタートをきりました。

東京では173年ぶり(ー)という金環日食は奇贈のメカネをいただき、学園でも朝のあわただしい時間でしたが子どもたちと一緒にじっくり見ることができました。皆様はいかがでしたでしょうか？さて、今年度も新たなメンバーで年間3号の発行とこのぴーちっこを多くの皆さまにお届けするよう、編集委員一同がんばって参ります。と、いさよふしくおねがいします。

1 6 6 - 8 7 9 0

料金受取人払郵便

杉並支店  
承認

3038

差出有効期限  
平成26年8月  
14日まで  
(切手不要)

東京都杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友ホーム「ぴーちっこ」発行

See you next!

